

健康で安心して働くことができる職場を目指し、 勤務環境の改善に取り組みましょう！

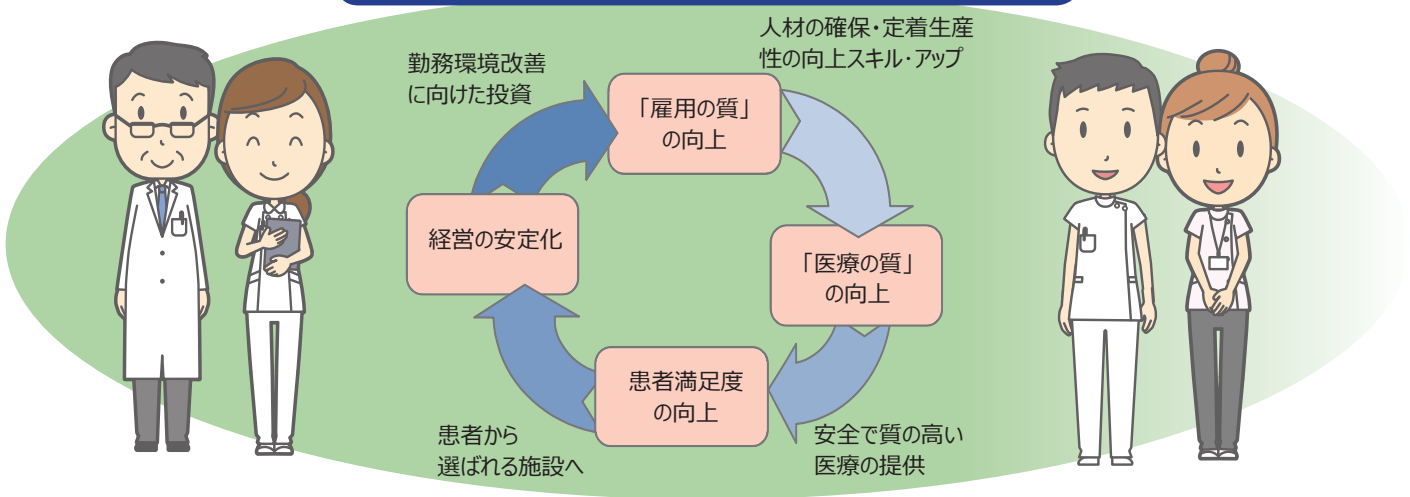
～人材の維持・確保のために～

○ ご存知ですか？「医療勤務環境改善マネジメントシステム」

平成 26 年 10 月の改正医療法施行以降、各医療機関の管理者は、計画的な勤務環境改善に向け自主的な取組を進めていくことが求められています。

「医療勤務環境改善マネジメントシステム」とは、それぞれの職場の実状にあった形で、自主的に継続的に行っていただく仕組みです。

医療機関の勤務環境改善の好循環サイクル



○ 勤務環境改善の経営上のメリットは？

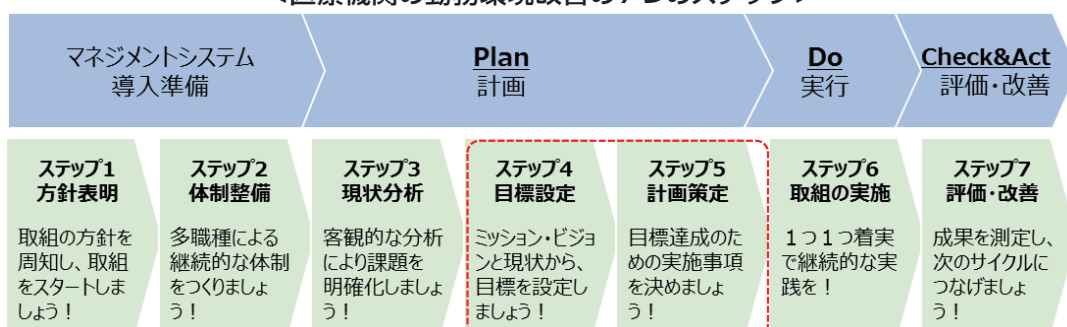
平成 28 年度に行った病院アンケート調査によると、回答いただいたほぼすべての病院が何らかの取組をおこなっていました。勤務環境改善に取り組む経営上のメリットとして、「離職率の低下」「職員の時間外労働時間の削減」「人材が確保しやすくなった」「職員が増えた」など人材の維持・確保に効果があると評価しています。

○ 目標を設定し、アクションプランを策定していますか？

同じくアンケート調査によると、マネジメントシステム導入の7つのステップのうち、「プロジェクトチーム・委員会の設置」、「経営トップの主体的に関与」、「明文化しての周知」の取組は進んでいます。

次のステップは「具体的な指標を設定」や「行動計画（アクションプラン）の策定」です。取組の成果を上げるためにも、目標を明確にし、目標達成の道筋を検討して取り組みましょう。

<医療機関の勤務環境改善の7つのステップ>



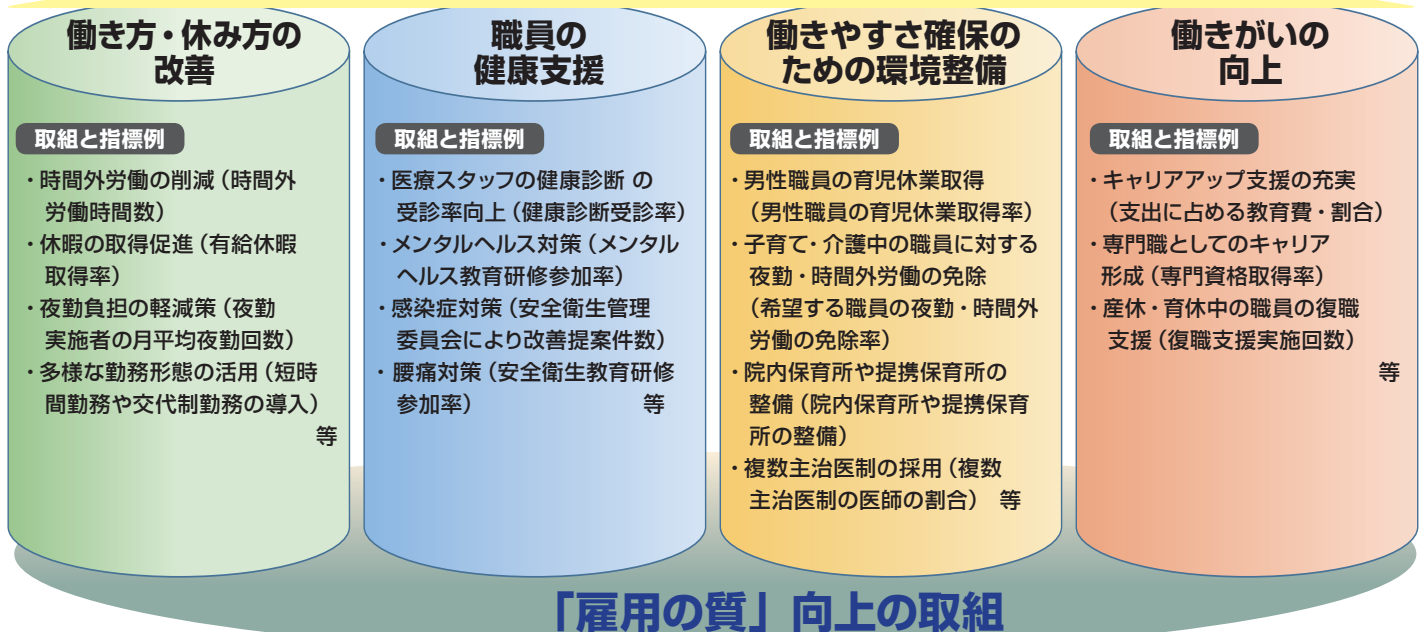
勤務環境改善の取組を「見える化」しましょう

○ 指標を設定し、取組の成果を数値で把握しましょう

指標を設定し、数値の変化を把握することで、目標がどの程度達成されたかを「見える化」できます。なお、指標を設定するにあたっては、現在の取組状況や医療機関の規模などを踏まえ、設定することが重要です。以下の「医療機関の勤務環境改善の指標例」を参考にいただき、たとえば制度の整備状況や職員の理解の状況が十分でない医療機関においては、まずは制度の整備や職員に理解されることから着手をしましょう。

<医療機関の勤務環境改善の4つの領域>

「医療の質」の向上



「雇用の質」向上の取組

医療勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き

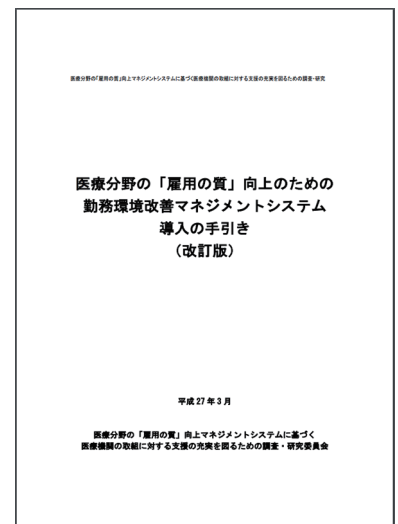
医療勤務環境改善マネジメントシステム導入のための具体的な手引きです。現状分析や目標設定など取組を進める各過程でご利用いただける支援ツールも含まれています。

支援ツールは「いきサポ」からダウンロードできます。

★「いきサポ」のホームページから
>「役に立つ情報」>「2. 各種通知・審議会等」

<マネジメントシステム 導入の手引き（改訂版）>

1. 勤務環境改善マネジメントシステム導入のねらい・目的
2. マネジメントシステム導入のフローと具体的な進め方
3. マネジメントシステム導入に関する取組事例の紹介
4. マネジメントシステム導入の支援ツールの使い方
5. 「雇用の質」向上の取組メニュー
6. 「雇用の質」向上の取組メニューの実施例
7. その他の支援ツール
8. 参考情報



いきいき働く医療機関サポート Web (いきサポ) のご紹介

○ いきサポをご存じですか？

「いきいき働く医療機関サポート Web (いきサポ)」は、医療機関が医療従事者の勤務環境改善に取り組む際に参考となるさまざまな情報（国・都道府県の関係施策、医療機関の取組事例、全国の医療勤務環境改善支援センターのウェブサイトのリンク等）を掲載しているウェブサイトです。



いきサポのURL

<http://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>

もしくは

いきサポ

検索

Click

○ どんなふうに取り組んだらいいか迷ったら、事例を参考にしましょう

勤務環境改善に取り組み、成果を出している医療機関の事例も紹介しています（平成 29 年 7 月末で 99 事例）。取組の内容、所在地、病院の規模などで検索も可能です。

- 国・都道府県や関係団体が行っている施策や事業等を紹介（関係法令・通知、医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針・手引き、都道府県の各種助成金・相談事業等）
- 医療機関が勤務環境改善に取り組んだ具体的な事例を紹介
- 医療機関の取組事例や勤務環境改善のアイデアを投稿することが可能
- 掲載事例に対してコメントを掲載でき、意見交換の場として利用することが可能

<紹介している取組事例（一部）>

【例1】医師の過重労働の改善

- ❓ 医療過疎化が深刻な周辺市町から重症患者が流入し、勤務医の慢性的な過重労働が問題に。
- ❗ 平成 20 年に医師事務作業補助者を導入。電子カルテへの代行入力、処方箋の代行入力、退院時のサマリー作成等医師の業務をサポート。
- 👏 その結果、医師の勤務時間が1日約2時間短縮。また、退院サマリー2週間以内作成率が20%から99%にアップ。

【例2】看護師の年次有給休暇取得の推進

- ❓ 看護師の定員増員を試みるも人数確保は困難を極め、看護師の人材定着のためには働き続けられる職場環境の整備が急務に。
- ❗ 院内プロジェクトチーム「看護部 WLB 推進委員会」を設置し、年次有給休暇の計画的取得促進をはじめとする様々な施策に取り組む。
- 👏 パースデー休暇や3日以上連続休暇の推進で、年次有給休暇取得率が21.9%から33.5%に改善。

医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー

より多くの医療機関の管理者等に勤務環境改善マネジメントシステムを活用して勤務環境改善に向けた取組を行っていただくよう、勤務環境改善マネジメントシステムの普及促進を図るためのセミナーを全国で開催しています。平成 29 年度は全国 9 箇所の地域セミナー及びトップセミナーを開催予定です。

「いきサポ」ではセミナーの開催情報や、過去に実施したセミナーの報告や資料をご覧ください。

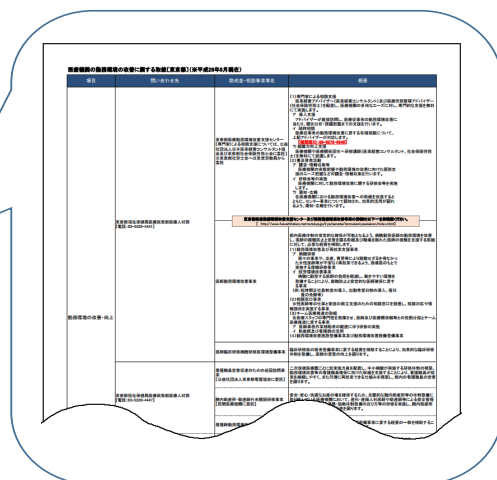
★「いきサポ」のホームページから
>「役に立つ情報」>「4. イベント開催および開催報告について」

各都道府県における取組

各都道府県内で活用しうる、医療機関の勤務環境の改善に向けた助成金等の各種制度については、「いきサポ」のホームページ内からご覧いただけます。

★「いきサポ」のホームページから
>「役に立つ情報」>「5. 各都道府県における取組」

※ 下記地図の桃色となっている都道府県をクリックすると、取組情報を PDF で表示します。



各都道府県の医療勤務環境改善支援センターのご紹介

ご存知ですか？すべての都道府県に医療勤務環境改善支援センターが設置されています。どんなふうに取り組んだらいいか迷ったら、医療勤務環境改善支援センターにご相談ください。

医療勤務環境改善支援センターは、改正医療法に基づき都道府県が設置する医療従事者の勤務環境の改善を促進するための拠点です。

医療労務管理アドバイザーと医業経営アドバイザーを配置し、医療勤務環境改善マネジメントシステム等に関する周知・啓発、医療機関の実態やニーズの把握、医療勤務環境改善マネジメントシステムの導入等の支援等の業務を行っています。

「いきサポ」には、各都道府県の医療勤務環境改善支援センターのホームページ等へのリンク集がございます。

★「いきサポ」のホームページから
>「役に立つ情報」>「6. 各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」

